



秩父病院だより



看護学生への指導

地域医療を担う医師の育成

院長 花輪峰夫



『地域医療を担う医師を地域で育成したい』現在の私の夢です。私の医師人生の最終目標に

ます。当院で研修した初期研修医たちに「今後、何を根拠に研修病院を選びますか」と尋ねました。以下がその答えです。

- 指導医がいること
- 学会専門医の受験資格が取れること
- 症例数が多いこと
- 等自身のキャリアアップへの要望が主体であり、他には
- 環境・余暇・余裕
- 給与

しようと思っています。振り返ってみますと、幸いにも、当院は結果として地域医療を担う医師を育てています。常勤医として当院に勤務した6名の先生方が、地域医療の実践を習得した後、新規に開業、あるいは病院を継承し、現在は秩父地域医療の中心的役割を担っていただいています。また、この二十数年来、埼玉医科大学等から常勤医20名、非常勤を合わせると40名を超える若い先生方が当院に派遣されており、生の地域医療を研鑽しつつ、当地の医療に貢献していただいています。

これらを踏まえ、若い医師達に選ばれた病院を目指し、昨年末よりは、日本外科学会、日本消化器外科学会、日本消化器内視鏡学会、日本消化器病学会の各専門医取得を視野に入れた、後期研修医の募集も始めました。現在、日本プライマリ・ケア連合学会の総合医（家庭医）の研修プログラムを準備中であります。

最近では、新医師臨床研修制度の発足以来、埼玉医科大学、日本医科大学系列の計5病院より、すでに40名を超す初期研修医が当院にて地域医療の研修を行っています。実は、彼らとの触れ合いを通じて、私自身、多くの事を学び、活性化され、改めて指導する喜び、冒頭の「夢」を再認識した訳です。

今年4月より、内科に日本医科大学名誉教授の芝崎保先生、外科に多くの学会の専門医・指導医の資格を持つ大野哲郎先生が着任し、指導体制はさらに充実しました。

とはいえ、夢を実現するためには、若い医師達に当院に来てもらわなくては始まりません。どうしたら彼らに来てもらえるか、真剣に考えてい

私の医師人生もそろそろリレーのバトンタッチゾーンに入り、必然的に後継者を育て、病院としても個人としても、次のランナーにバトンを渡さなければなりません。今後5年から10年間をその期間と据え、全力で地域医療を担う専門医、総合医を育成していきたいと考えています。

※詳細は当院のホームページをご覧ください。



胃がんに対する 腹腔鏡下胃切除術

腹腔鏡手術とは

腹腔鏡手術は、お腹に炭酸ガスを注入して膨らませ、お腹に開けた5～12mmの数箇所の小孔から腹腔鏡や器械を挿入し、モニター画面を見ながら行う手術のことです。当院では以前から腹腔鏡下胆嚢摘出術を行ってきましたが、本年より腹腔鏡下胃切除術を導入しました。

腹腔鏡手術の利点

- 創が小さいため術後の痛みが軽く、早期退院・社会復帰が可能です。
- 腹腔鏡による拡大視効果によって、正確にリンパ節を取り除くことができ、開腹手術と比べて術中出血量を著しく減らすことができます。
- 手術参加者全員が同じ視野を共有することにより安全性が高まります。

当院での腹腔鏡下胃切除術

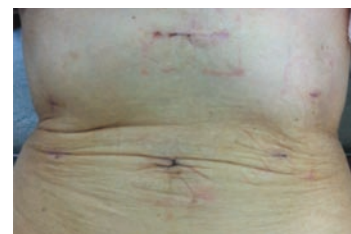
当院では、腹腔鏡下胃切除術を、術前のCT検査などで明らかなリンパ節転移を認めない比較的早期の胃がんに対して行っています。当院としての症例数はまだ少ないですが、開腹手術と同等の根治性があり、合併症の発生も少なく、患者さんのからだへの負担は著しく軽い手術ですので、今後積極的に行っていく予定です。



臍部のポートから炭酸ガスを注入し、腹腔鏡で観察します。他の4ポートは手術操作用です。



血管周囲のリンパ節を超音波凝固切開装置を用いて取り除いているところです。このように拡大視が可能のため、開腹手術よりも精緻な操作ができ、出血量も非常に少なくなっています。



術後3週間の腹部です。創が小さく痛みが少ないため、からだへの負担が軽く、早期退院が可能です。

連携病院のご紹介

* 秩父第一病院 *

院長 桂 浩二先生

当院は昭和59年9月に秩父第一診療所としてスタートし、昭和63年秩父第一病院を開設しました。現在、秩父地域においては老人保健施設うららと共に、高齢者を中心とした地域医療に全力で取り組んでいます。

私たち秩父第一病院スタッフは「安心する患者様(老人)と家族」を基本理念とし、優しさと温もりのある医療・介護福祉の実践を目指して努力しています。常に患者様の権利と安全を最優先に考え、医療環境の整備、患者様サービスを徹底させ、地域社会に密着した、住民のニーズに対応できる病院を目指しています。地域の医療機関とも緊密に連携をとり、特に秩父病院とは救急医療、入院治療等連携を深め、さらに3次救急施設との連携も強化していき、

安全で質の高い医療を提供したいと日々努力しています。地域住民にとって頼りがいのある、心強い病院として貢献できるよう努力いたしますので、よろしくお願いいたします。



プチメール

外科集談会において細田隆介先生が発表しました



2013年6月29日に東京大学山上会館で開催された、第829回外科集談会において、埼玉医科大学国際医療センター初期研修医の細田隆介先生が発表しました。先生は3カ月間、当院にて実に熱心に地域医療研修を行いました。彼にとっては初めての学会発表でしたが、堂々と落ち着いて発表していました。

当院にとって研修医の発表は3人目です。今後も可能な限り、当院で研修する若い先生方には、多くの学会に参加してもらいたいと考えています。

医療法人花仁会



秩父病院

〒369-1874 埼玉県秩父市和泉町20番

TEL. **0494-22-3022** (代表) FAX. 0494-24-9633

ホームページ: <http://www.chichibu-med.jp>

Eメール: info@chichibu-med.jp

診療科目 外科・内科・消化器外科・消化器内科・肛門外科・循環器内科・麻酔科・放射線科・肝臓内科・整形外科・形成外科・歯科・人間ドック
一般健診: 随時受け付けております。お申し込み電話番号 (0494-22-3023)

受付時間 午前8:30~11:30 / 午後12:30~5:30

診療時間 午前9:00~12:00 / 午後 3:00~6:00

休日 日曜・祝祭日

はほそ もり
<秩父病院分院> **柞の杜クリニック**

平成25年3月31日をもって休院となりました。

